

令和7年度 第4回 浅間小学校学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和8年1月29日(木) 午後2時20分から午後3時30分まで
- 2 開催場所 浅間小学校 南校舎2階 会議室
- 3 出席委員 鈴木 秀志、高橋 与人、伊藤 元之、鈴木 明子、岡本 弥佐、
岩崎 香織、川合 正二、加藤 好洋
- 4 欠席委員 市原 美智恵
- 5 オブザーバー 加藤 晴康(南部協働センター所長)
- 6 学校支援コーディネーター 佐藤 穂
- 7 学 校 鈴木 啓二(校長)、土屋 里佳(教頭)、宮崎 由季(教務主任、
CS担当職員) 栗田 加奈(CSディレクター)
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 栗田 加奈(CSディレクター)
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木会長より伊藤委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- (1) 学校関係者評価(「いじめ防止等のための基本方針について」)
- (2) 来年度の学校運営基本方針の説明
- (3) 学校運営協議会の自己評価

12 会議記録

司会の教頭から委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校関係者評価について

協議会に先立ち5時間目の授業参観を行った。その後、議長の指示により教務主任から別紙資料に基づき令和7年度学校評価アンケート結果およびそれを受けた改善案について説明があり、委員から以下の発言があった。

【やさしさいっぱい設問】

- ・人の良さを伝えてあげる活動があると自分では気付かなかった良いところに気づき、自己肯定感も上がる。(高橋委員)
- ・教員が振り返りの機会を作ることによって相互理解に繋がると思う。(伊藤委員)

【やる気いっぱい設問】

- ・「自主性をもって学習に取り組んでいる」は、子供たちと保護者のとらえ方に差がある。子供が保護者に伝えるのが一番伝わるがうまく伝わっていない。子供が保護者に伝える以外のツールを継続的に実施していくとよい。(高橋委員)
- ・共働き家庭が多い為、家で1人で学習する子どもが増えている。教員だけでなく、家での学習、復習は大切。(伊藤委員)
- ・大人の声掛けで子供はやる気が出ると思う。ここまで頑張れと具体的な着地点を声

掛けしてあげると粘り強く頑張れるのではないか。(岡本委員)

- ・言ったら聞いてもらえるという心理的安全性があると子供も話せる。子供が自分の言葉で分かり易く伝えるトレーニングも必要。(加藤委員)

【元気いっぱい設問】

- ・やさしさいっぱいやる気いっぱい元気いっぱいの子がたくさんいる。できている子が増えた中、できていない子をどうするかが課題。(明子委員)
- ・苦手な食べ物にもチャレンジしていくと我慢強さにも繋がると思うので食育は素晴らしい。(高橋委員)

【いじめ防止基本方針に基づく取組】

- ・色々ないじめの方法に対する対策を情報収集し共有してほしい。(高橋委員)
- ・やさしさいっばいに繋がるので、友達との会話の中でアンテナを張ることがいじめの早期発見に繋がる。(川合委員)

(2) 来年度の学校運営基本方針について

議長の指示により、校長より来年度の学校運営基本方針案について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・引き続き児童の主体性を育ていけるよう、やさしさいっぱい、やる気いっぱい、元気いっばいの学校づくりに取り組んでほしい。(鈴木秀志委員)

(3) 学校運営協議会の自己評価

議長より、各委員の学校運営協議会自己評価をまとめた資料についての説明があった。その他の追記する意見は特になく全員が確認した。

夢育やらまいかCS加算分の報告

議長の指示により、教頭から夢育やらまいか事業予算のコミュニティ・スクール加算分(キャリア教育、地域・家庭の連携、環境教育、美化活動の推進)について報告があった。

浅間つばめ応援団の活動報告

議長の指示により、CSコーディネーターよりつばめ応援団の後期ボランティア活動報告があった。

その他連絡事項等

- ・来年度開催日時について

教頭から来年度の学校運営協議会の年間開催予定日程の連絡があった。